平成 24 年 3 月 16 日

国際石油開発帝石株式会社

ブラジル、フラージ鉱区近傍における油漏洩事故について［第九報］（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社は、関連会社のインペックス北カンポス沖石油㈱を通じて出資するブラジル現地法人 FJPL 社（Frade Japão Petróleo Limitada）により、ブラジル連邦共和国カンポス沖合のフラージ鉱区において石油の生産および開発作業を進めております。同鉱区近傍の海上における油漏洩事故につきまして、プロジェクトオペレーターのシェブロン社からの新たな情報により現在判明している状況は以下の通りです。

- シェブロン社は、ブラジル国家石油庁（ANP）に対してフラージ鉱区の生産活動を自主的に一時停止する申請を行いました。
- これは、2011（平成 23）年 11 月 8 日に確認された油のしみ出しとは別の場所からの小規模な新たな油のしみ出しをこのたび確認したため、予防的措置を講じることにしたものです。シェブロン社は原因究明のための包括的な技術的スタディーを行い、地域一帯における地質的特性を確認したうえで、ブラジル国家石油庁（ANP）との間での必要な承認手続きに対処していく予定です。
- 当社を含む本鉱区のパートナー各社は、オペレーターであるシェブロン社の上記対処方法を支持しています。
- フラージ鉱区では、日量約 6 万バレルの原油を生産しています。なお、昨年 12 月には、ブラジル国家石油庁（ANP）からの指示に従い、同鉱区内の 4 坑井における水の地下への再圧入作業は停止しています。

今後もプロジェクトオペレーターのシェブロン社と連携しつつ、また同社からの更新情報が入りましたら、逐次お知らせいたします。

「補足・関連情報」
ブラジル連邦共和国　フラージ鉱区　権益比率：
・シェブロン（オペレーター　本社：米国）　51.7%
・ペトロブラス（ブラジル国営石油会社）　30%
・Frade Japão Petróleo Limitada（FJPL）※18.3%
（フラージ ジャパン ペトレオ リミタダ）
※当社、双日株式会社および独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が設立したインペックス北カンポス沖石油株式会社のブラジル現地法人子会社

以上

【本件に関する問い合わせ】
国際石油開発帝石株式会社　　広報・IR ユニット　　03-5572-0233